

令和5年度 第1回 焼津市地域公共交通会議 【説明資料】



くるいん号
キャラクターデザイン
決定



令和5年5月25日（木）

(1) 報告事項

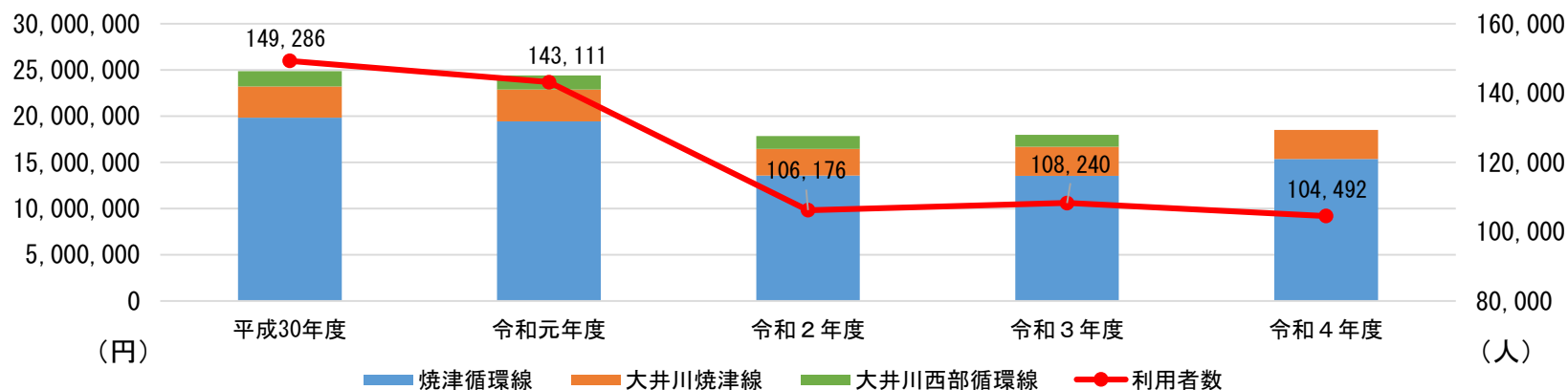
- ア 市内バス路線の利用状況等について
(自主運行バス・路線バス)**
- イ デマンド型乗合タクシーの利用状況について**
- ウ 第1回焼津市地域公共交通大井川分科会の開催について**
- エ くるりん号キャラクターデザインについて**

報告事項

- ア 市内バス路線の利用状況等について
(自主運行バス・路線バス)

ア 市内バス路線利用状況等について

① 自主運行バス利用状況の推移

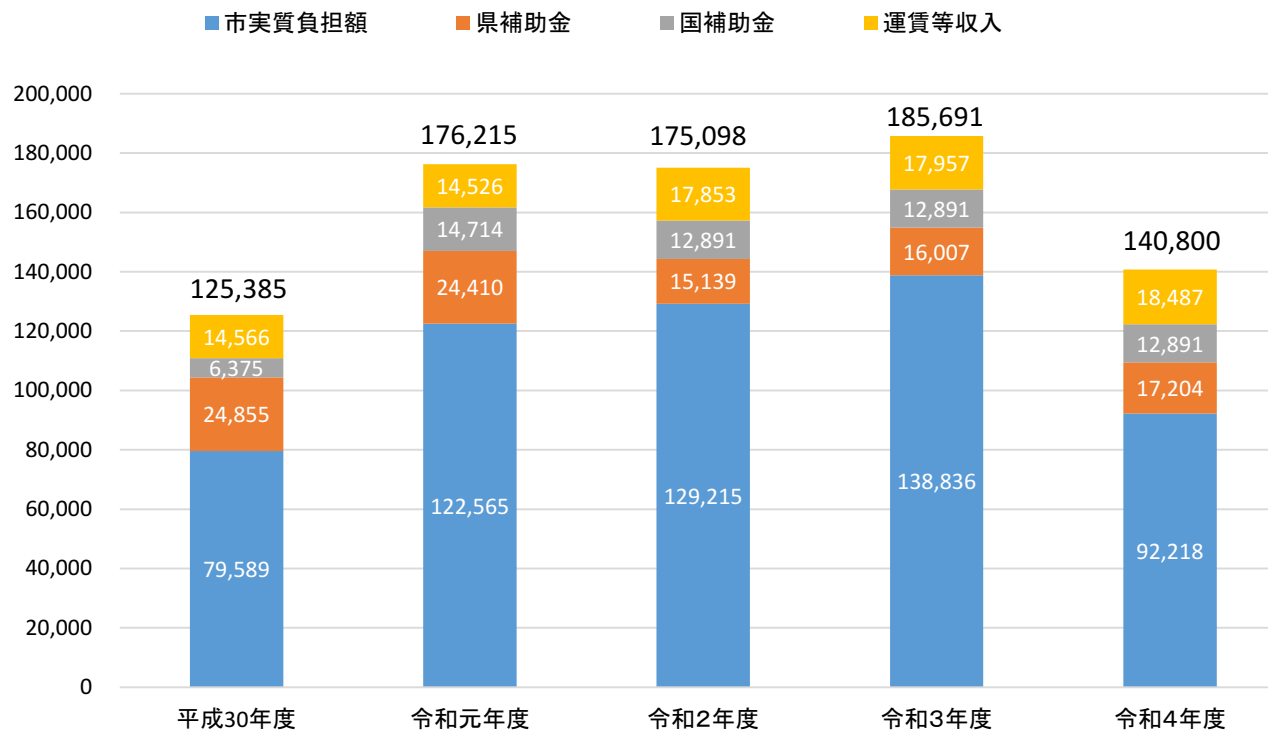


		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
焼津循環線	利用者数	120,934人	116,020人	82,345人	83,278人	88,344人
	運賃等収入	19,831,474円	19,435,291円	13,684,150円	13,528,428円	15,362,170円
大井川焼津線	利用者数	17,713人	17,484人	14,963人	16,606人	16,148人
	運賃等収入	3,367,277円	3,446,971円	2,864,143円	3,143,604円	3,125,263円
大井川西部循環線	利用者数	10,639人	9,607人	8,808人	8,356人	—
	運賃等収入	1,656,221円	1,525,821円	1,404,923円	1,285,037円	—
合計	利用者数	149,286人	143,111人	106,176人	108,240人	104,492人
	運賃等収入	24,854,972円	24,408,083円	17,853,216円	17,957,069円	18,487,433円

- 新型コロナウイルス感染症による影響が続いた令和3年度と比較し、焼津循環線の利用者は増加し、大井川焼津線はほぼ横ばいであった。大井川西部循環線の廃止による大井川焼津線への影響は特に見られなかった。

ア 市内バス路線利用状況等について

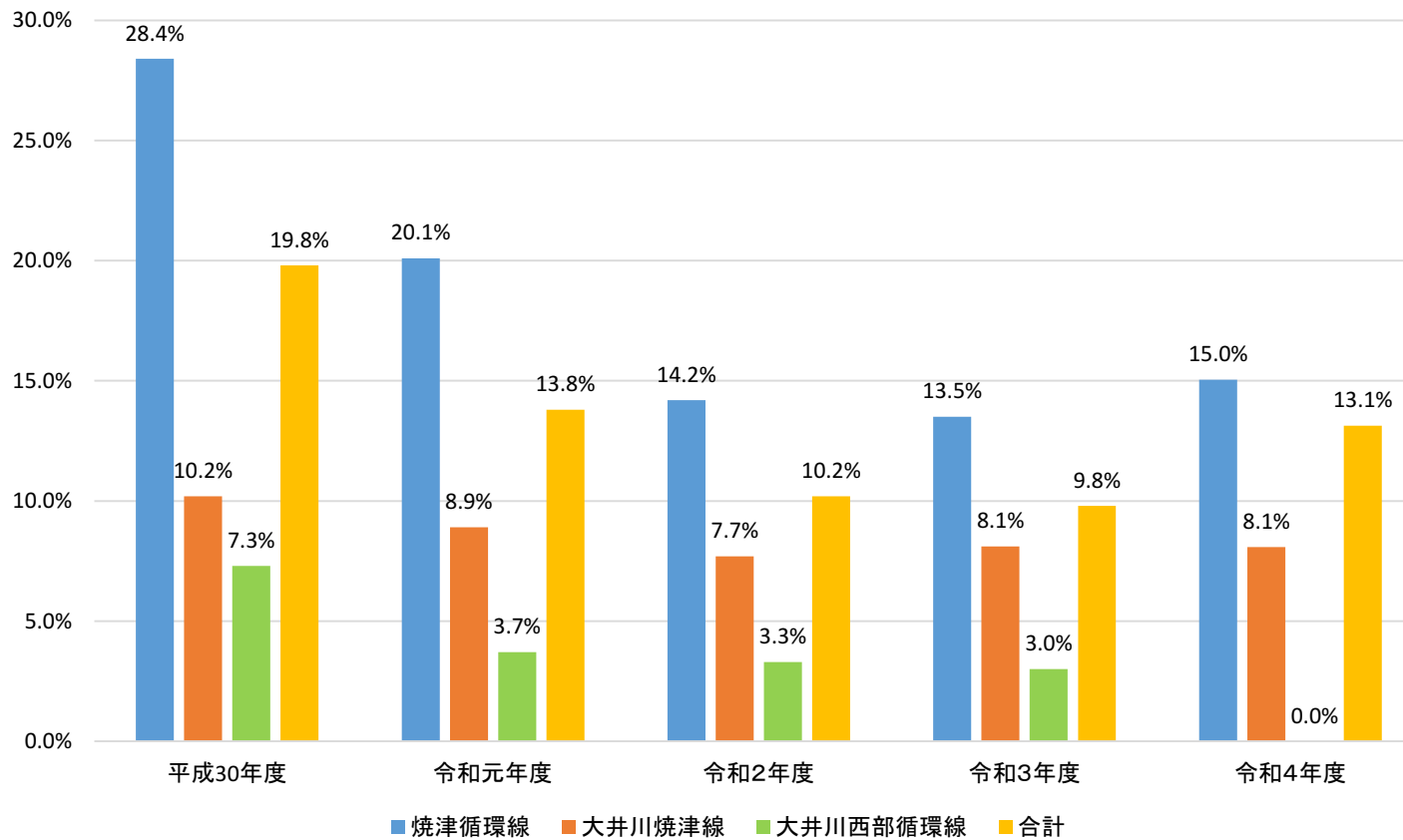
② 自主運行バス運行経費等の推移



- 運行事業者における車庫の移転に伴う回送距離の増加、運転手不足対策による人件費の増加、燃料費の上昇などの要因により、令和元年度から運行に必要な経費が増加した。
- 経費が増加している反面、国及び県からの補助金、運賃収入とも横ばいとなっている中、大井川西部循環線の廃止、大井川庁舎での車両保管や事務所の設置、運賃等収入の増加により、市実質負担額を削減できた。

ア 市内バス路線利用状況等について

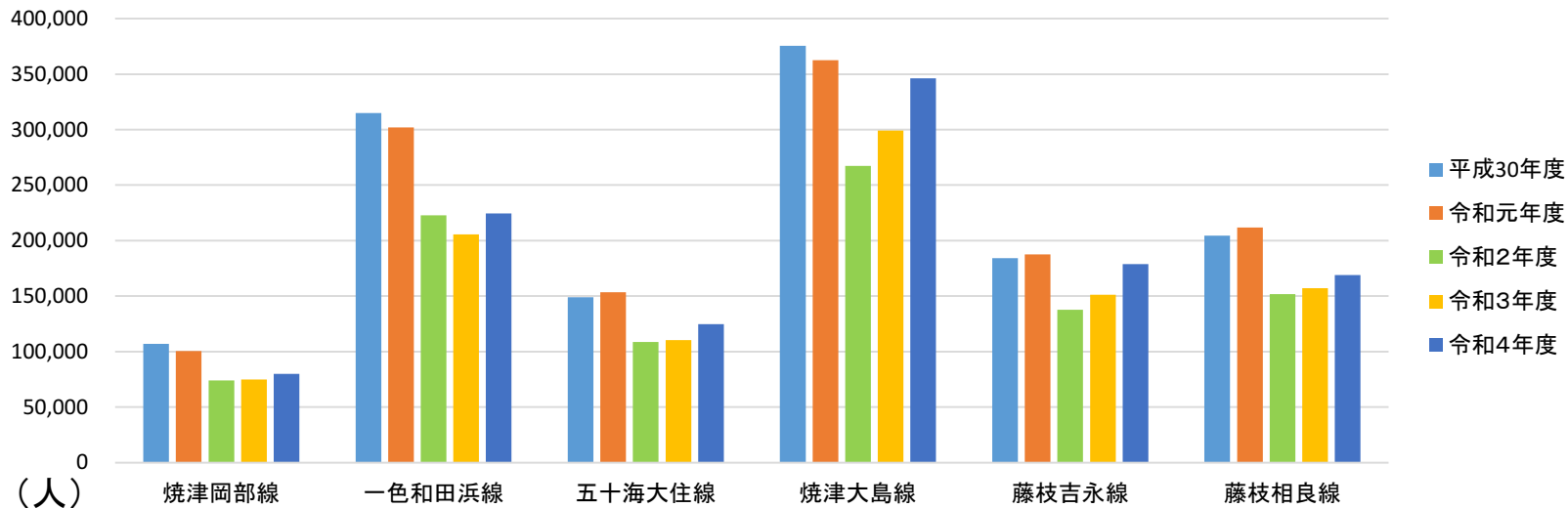
③ 自主運行バス収支率の推移



- 運行経費は年々増加しているが、利用状況に応じた運行内容の変更により、平成30年までは収支率20%前後を保ちながら推移してきた。
- 令和元年度以降は運行経費の上昇により、結果として収支率は低下しているが、運賃収入の増加に伴い、令和4年度は増加に転じた。

ア 市内バス路線利用状況等について

④ 民間路線バスの利用者数の推移



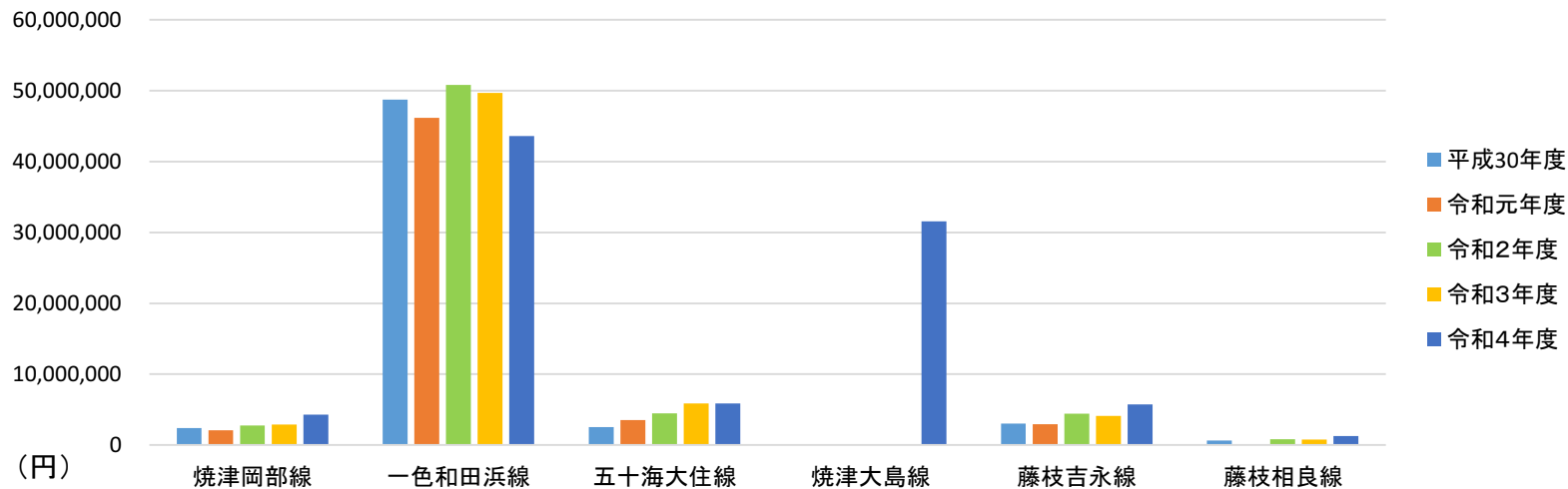
※しずてつジャストライン(株)報告値

【前年度比較】	令和3年度	令和4年度	増減	(%)
焼津岡部線	74,713人	80,040人	5,327	(+7.1%)
一色和田浜線	205,452人	224,518人	19,066	(+9.3%)
五十海大住線	110,312人	124,775人	14,463	(+13.1%)
焼津大島線	299,045人	346,247人	47,202	(+15.8%)
藤枝吉永線	151,070人	178,691人	27,621	(+18.3%)
藤枝相良線	157,097人	169,042人	1,945	(+7.6%)
合計	997,689人	1,123,313人	125,624	(+12.6%)

- すべての路線で利用者数が増加し、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復が見られる。
- 焼津大島線と藤枝吉永線の増加率は、全路線の平均を顕著に上回った。

ア 市内バス路線利用状況等について

⑤ 民間路線バス 市補助額の推移



【前年度比較】	令和3年度	令和4年度	増減
焼津岡部線	2,899,316円	4,310,063円	1,410,747円
一色和田浜線	49,676,704円	43,608,500円	-6,068,204円
五十海大住線	5,892,605円	5,854,632円	-37,973円
焼津大島線	0円	31,568,756円	31,568,756円
藤枝吉永線	4,109,070円	5,727,739円	1,618,669円
藤枝相良線	791,466円	1,282,754円	491,288円
合計	63,369,161円	92,352,444円	28,983,283円

・令和4年度より、焼津大島線の路線延長区間への補助を行っている。
 路線バスの運行経費は上昇傾向にある中で、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復が望まれるが、路線の適正化を図るため、支援を継続するとともに、今後も更なる収支改善策の協議・検討が必要である。

報告事項

イ デマンド型乗合タクシーの利用状況について

イ デマンド型乗合タクシーの利用状況について（焼津 I C 周辺地区）

1. 利用状況（令和5年3月末日現在）

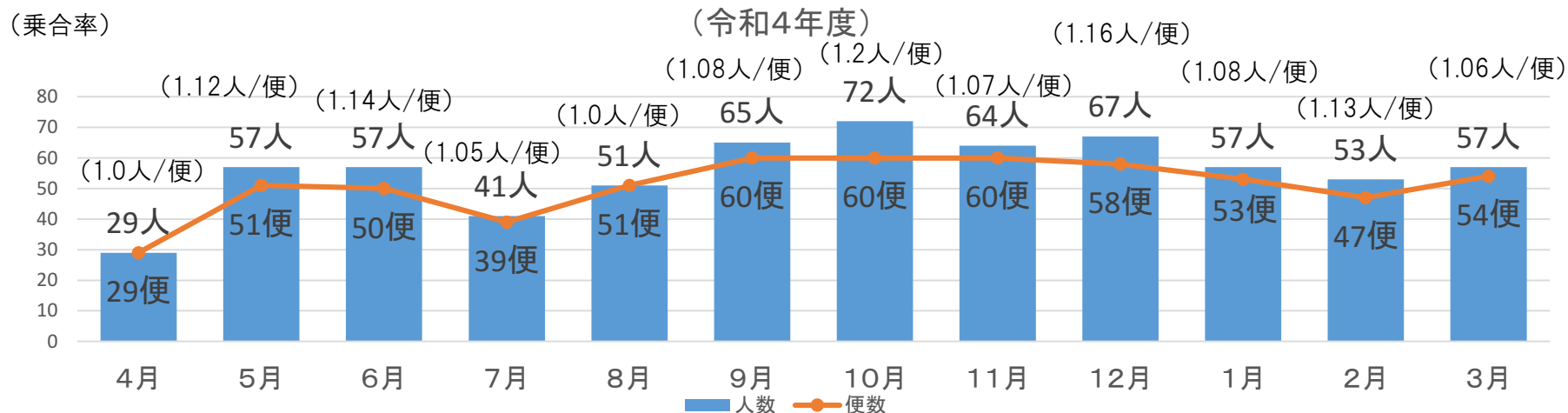
利用登録者数(R5.5.15)	310人（対象エリア推定人口1,700人）		
利用人数	670人	実利用者数	55人
運行便数	612便	乗合率	1.09
主な行き先	焼津駅、甲賀病院、大村公民館		

2. 収支状況（令和5年3月末日現在）

運行経費	1,097,820円
運賃収入	236,450円

焼津 I C 周辺地区

3. 月別利用者数（令和4年4月～令和5年3月）



イ デマンド型乗合タクシーの利用状況について（大島・三和地区）

1. 利用状況(令和5年3月末日現在)

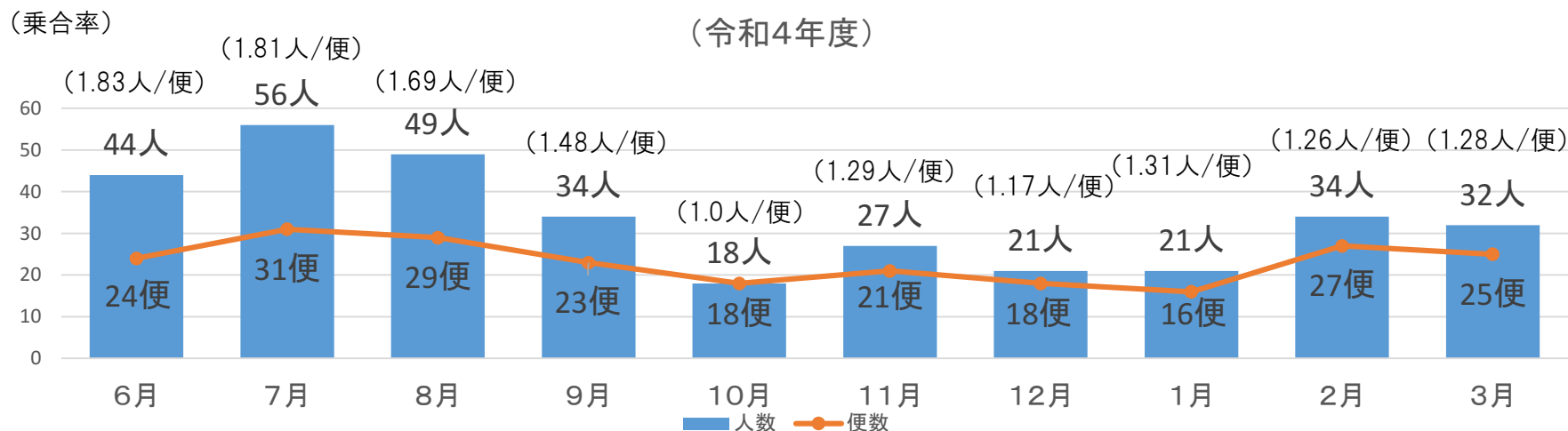
利用登録者数(R5.5.15)	29人		
利用人数	336人	実利用者数	10人
運行便数	232便	乗合率	1.45
主な行き先	大島萩の森、三和ちびっこ広場		

2. 収支状況（令和5年3月末日現在）

運行経費	404,856円
運賃収入	100,800円

大島・三和地区

3. 月別利用者数（令和4年6月～令和5年3月）



イ デマンド型乗合タクシーの利用状況について（大井川地区）

1. 利用状況(令和5年3月末日現在)

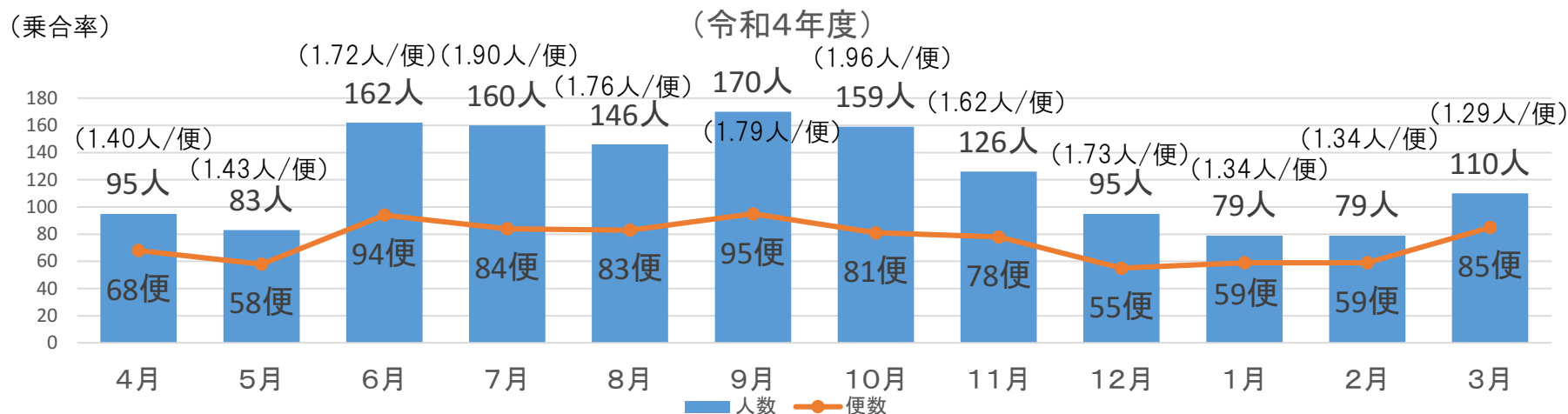
利用登録者数(R5.5.15)	749人（対象エリア人口21,000人）		
利用人数	1,464人	実利用者数	87人
運行便数	899便	乗合率	1.63
主な行き先	大井川庁舎、保育園、グランリバー		

2. 収支状況（令和5年3月末日現在）

運行経費	31,624,417円
運賃収入	248,250円

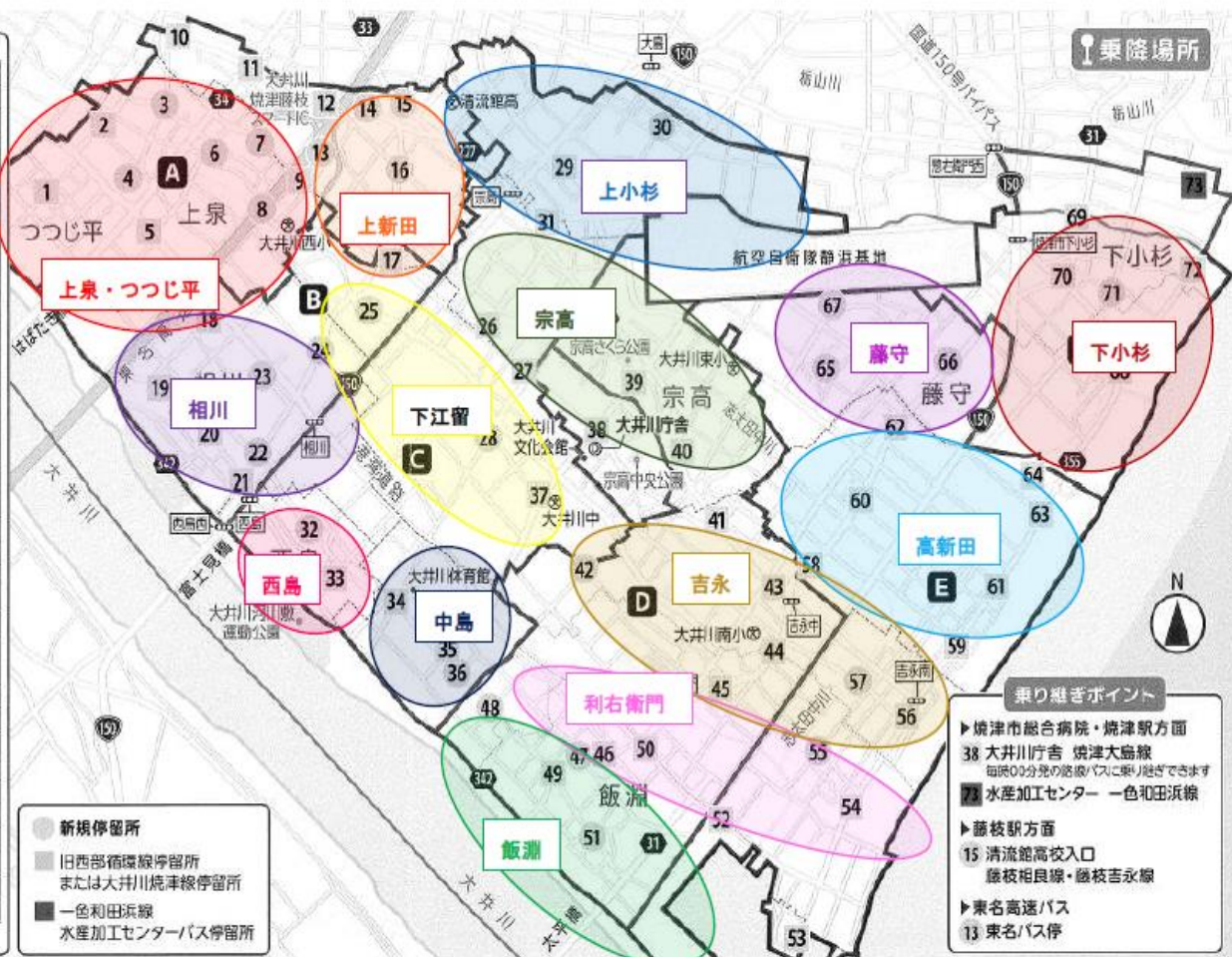


3. 月別利用者数（令和4年4月～令和5年3月）



大井川地区別エリア

地区 NO.	停留所	地区 NO.	停留所
1	つつじ平団地	39	大井川行舎
2	上泉上	39	中川原
3	上泉第1町内会公会堂前	40	大井川福祉センター
4	上泉公園前	41	上田中
5	上泉	42	大井川防災広場前
6	上泉自治会館前	43	吉永辻
7	スマートインター上り入口前	44	吉永
8	西小北ガード下	45	上島
9	西小入口	46	東島
10	上新田北	47	飯淵公会堂前
11	上新田中	48	飯淵お不動さん前
12	東名入口	49	飯淵
13	東名バス停	50	利右衛門
14	子安神社前	51	飯淵第2町内会集会所前
15	清流館高校入口	52	飯淵工業団地前
16	桜井医院前	53	港湾会館前
17	上新田西	54	六軒屋
18	寺島	55	お灯明前
19	相川上	56	高島
20	相川	57	吉永第2公会堂前
21	富士見橋	58	高新田
22	魚金前	59	高新田防災センター
23	相川自治会館前	60	鶴巻団地
24	大井川事務機前	61	平松
25	下江留第1町内会館前	62	平松口
26	グランリバー南	63	高新田平
27	下江留中	64	大井川寮・睦園前
28	下江留第3町内会公会堂前	65	藤守第1町内会館前
29	上小杉	66	藤守自治会館
30	上小杉団地公園前	67	大井川稲宮伝承館前
31	まんざいかん前	68	藤守防災センター前
32	西島自治会館前	69	下小杉
33	西島	70	天満宮前
34	大井川体育館	71	橋山医院前
35	中島	72	小杉浜
36	中島公会堂前	73	水産加工センター
37	中学校前		



令和5年4月18日に第1回焼津市大井川分科会を開催し
くるりん号の運行状況について報告しました。

登録状況（R5.5.17現在）

	字人口	登録者数	割合	男	女	10未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80以上	他
上泉・つつじ平	1,960	120	6.1%	54	66	3	4	3	1	6	13	10	43	37	
上新田	1,313	38	2.9%	13	25	1		1	2		5	7	11	11	
相川	1,609	63	3.9%	29	34		1	2	2	2	9	11	18	18	
下江留	1,501	48	3.2%	18	30	4	2	1	1	5	1	7	14	13	
上小杉	1,929	47	2.4%	24	23		3	2		2	6	2	18	14	
西島	268	13	4.9%	3	10						1	1	4	7	
中島	674	22	3.3%	10	12		1	1			3	2	5	10	
宗高	2,712	73	2.7%	28	45		3	3	1	1	7	6	21	31	
吉永	2,431	63	2.6%	19	44	6	2	2	1	4	4	7	18	19	
飯淵	1,204	45	3.7%	17	28		1		1	3	4	9	15	12	
利右衛門	1,722	55	3.2%	24	31			1	1	2	6	4	23	18	
高新田	2,208	82	3.7%	33	49		4	2	3	9	9	16	24	15	
藤守	1,105	50	4.5%	24	26		2	1	2	5	2	12	16	10	
下小杉	496	17	3.4%	8	9			2			3	3	5	4	
介護登録		13			13										13
	21,132	749	3.5%	304	445	14	23	21	15	39	73	97	235	219	13
				40.6%	59.4%	1.9%	3.1%	2.8%	2.0%	5.2%	9.8%	13.0%	31.4%	29.2%	1.7%

- ・昨年10月以降から100名以上増加したものの、地区人口の3.5%ほどとなっている。
- ・上泉・つつじ平の登録者が多く、西部循環線に代わる交通機関として機能している。
- ・女性の登録者が多く、年代別では70代以上が60%以上を占めている。
- ・手帳保持者の登録が多い(75名)。

月別利用者数

大井川地区デマンドタクシー月別利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
利用者数	一般	63	32	48	43	31	50	45	36	41	57	49	82	577
	手帳保持者	22	30	56	55	57	54	50	45	28	14	21	15	447
	小学生	2	1	0	0	8	4	4	3	4	2	2	0	30
	介護者	0	0	0	6	0	7	2	4	1	0	1	3	24
	未就学児	8	20	58	56	50	55	58	38	21	6	6	10	386
	利用者計	95人	83人	162人	160人	146人	170人	159人	126人	95人	79人	79人	110人	1464人

- ・ 6月以降は、利用者数が100人を超え、増加傾向。
- ・ 12月から2月にかけて利用者数が減少し、3月に回復している。
→寒くなると外出を控えていた利用者が、暖かくなって再び外出するようになったこと、新規の利用者もみられたことが要因と思われる。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
運行便数	68便	58便	94便	84便	83便	95便	81便	78便	55便	59便	59便	85便	899便
乗合率	1.40	1.43	1.72	1.90	1.76	1.79	1.96	1.62	1.73	1.34	1.34	1.29	1.63

便別利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
便別 利用 人数	加工 セン ター 行 き	1便	0	7	37	31	28	5	6	5	3	3	0	2	127	
		2便	8	12	28	23	18	19	19	12	12	2	3	12	168	
		3便	16	11	9	10	15	13	9	11	10	24	16	7	151	
		4便	7	1	2	3	7	4	4	2	6	2	3	5	46	
		5便	0	2	5	3	1	2	5	1	5	2	4	6	36	
		6便	14	6	6	4	1	6	8	8	7	8	4	4	7	75
		7便	3	1	1	2	2	0	1	7	0	0	2	3	22	
		8便	3	3	15	27	18	27	27	19	3	3	4	11	160	
		9便	3	9	3	3	7	0	4	2	3	0	0	1	35	
		計	54人	52人	106人	106人	97人	76人	83人	66人	50人	40人	36人	54人	820人	
	つつ じ 平 行 き	1便	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2	3	9	
		2便	5	2	6	2	3	32	26	17	19	16	15	9	152	
		3便	10	9	10	15	22	21	13	7	8	8	11	14	148	
		4便	12	6	12	5	5	5	6	6	6	4	2	4	73	
		5便	5	0	4	3	0	5	5	5	3	4	3	5	42	
		6便	1	2	0	5	3	1	0	10	2	2	2	9	37	
		7便	3	1	3	4	2	5	3	4	1	2	3	7	38	
		8便	3	10	21	20	14	22	23	11	5	3	5	5	142	
		9便	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	
計	41人	31人	56人	54人	49人	94人	76人	60人	45人	39人	43人	56人	644人			

- ・加工センター行き1便～3便・8便が多い。
- ・つつじ平行きは、2～4便・8便が多い。
- 午前と夕方に利用が集中している

停留所別 乗降者数

No.	停留所	計	
		乗車	降車
38	大井川庁舎	418	481
56	宮島	336	321
1	つつじ平	144	135
26	グランリバー南	88	131
17	上新田西	54	43
57	吉永第2公会堂前	53	22
60	鶴巻団地	39	26
15	清流館高校入口	28	32
2	上泉上	15	2
3	上泉第1町内会	1	1

No.	停留所	計	
		乗車	降車
5	上泉	18	15
6	上泉自治会館	1	1
10	上新田北	24	19
13	東名バス	8	22
14	上田中	1	1
16	桜井医院前	8	13
20	相川	19	17
21	富士見橋	1	1
22	魚金前	6	3
23	相川自治会館前	4	2

No.	停留所	計	
		乗車	降車
27	下江留中	9	16
30	上小杉団地公園前	9	9
31	まんさいかん前	17	27
32	西島自治会館	5	1
35	中島	2	2
37	中学校前	1	0
39	中川原	2	2
40	大井川福祉センター	1	6
41	上田中	3	5
43	吉永辻	10	4

No.	停留所	計	
		乗車	降車
45	上島	14	9
47	飯淵公会堂前	3	1
49	飯淵	26	21
61	平松	10	2
62	平松口	20	1
63	高新田平	15	8
65	藤守第1町内会館前	1	12
66	藤守自治会館	25	9
69	下小杉	3	1
71	横山医院前	22	39
73	水産加工センター	0	1
	計	1464	1464

No. 4	上泉公園前	No. 29	上小杉	No. 53	港湾会館前
7	スマートインター 上り入口前	33	西島	54	六軒屋
		34	大井川体育館	55	お灯明前
8	西小北ガード下	36	中島公会堂前	58	高新田
9	西小入口	42	大井川防災広場前	59	高新田防災センター
11	上新田中	44	吉永	64	大井川寮・睦園前
18	寺島	46	東島	67	大井八幡宮伝承館前
19	相川上	48	飯淵お不動さん前	68	藤守防災センター前
24	大井川事務機前	50	利右衛門	70	天満宮前
25	下江留第1町内会館前	51	飯淵第2町内会 集会場前	72	小杉浜
28	下江留第3町内会 公会堂前			52	臨海工業団地前

- ・大井川庁舎と宮島での乗降が多い
- ・グランリバー南の利用が伸びてきている
- ・上半期に利用が無かった飯淵の利用が増えた

・利用されていない停留所が多い。

地区別 利用者数内訳(令和5年3月末)

	利用回数	実利用者数	男	女	10未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80以上	その他
上泉・つつじ平	313	22	8	14	1					1	2	7	11	
上新田	43	4	1	3								2	2	
相川	49	11	4	7		1					1	2	7	
下江留	17	4	1	3						1	1		2	
上小杉	40	3	2	1									3	
西島	6	2		2								2		
中島	4	1		1									1	
宗高	12	4	1	3							1	1	2	
吉永	717	10	1	9	3		1				2	2	2	
飯淵	50	4		4							1	1	2	
利右衛門	12	1		1									1	
高新田	102	9	2	7			1		1		1	5	1	
藤守	61	10	2	8		1			2		1	3	3	
下小杉	4	1		1								1		
介護者登録	34	1												1
	1,464	87	22	64	4	2	2	0	3	2	10	26	37	1
			25.6%	74.4%	4.6%	2.3%	2.3%	0.0%	3.4%	2.3%	11.5%	29.9%	42.5%	1.1%

・実利用者は87名で、10月以降25名増加した。

・上泉、つつじ平、吉永は利用回数、実利用者が多い。

・相川高新田、藤守は実利用者が多い

・上半期に利用が無かった中島、飯淵、下小杉からの利用があり、全地区に利用が広がった

・実利用者の7割以上が女性で、年代別では70代以上が7割以上を占めている。

大井川地区の公共交通の利用状況

利用者数	大井川地区 デマンドタクシー (R4. 4~)	焼津大島線 大井川地区のみ (延伸：R4. 4~)	大井川焼津線		旧大井川 西部循環線 (H11. 10~ R4. 3)
	R4	R4	R4	R3	R3
4月	95人	761人	1,403人	1,386人	808人
5月	83人	846人	1,481人	1,406人	605人
6月	162人	928人	1,531人	1,460人	856人
7月	160人	1,071人	1,495人	1,424人	665人
8月	146人	897人	1,325人	1,271人	507人
9月	170人	1,165人	1,266人	1,302人	617人
10月	159人	1,263人	1,356人	1,465人	694人
11月	126人	1,202人	1,231人	1,492人	681人
12月	95人	1,315人	1,432人	1,479人	829人
1月	79人	1,331人	1,132人	1,243人	675人
2月	79人	1,262人	1,201人	1,101人	597人
3月	110人	1,435人	1,375人	1,577人	822人
計	1,464人	13,476人	16,228人	16,606人	8,356人

令和4年度	31,168人
令和3年度	24,962人

大井川地区デマンドタクシー周知活動

内容	実施時期	
自治会別相談会	4月～5月	地区内全自治会と大井川公民館の計16会場で相談会を実施
自治会や地域の会合で出前講座	9月～3月	自治会や地域の会合に参加し、運行内容の説明や登録受付を行った。計21回実施。
団体の会合での協力依頼	5月・9月・12月	社会福祉協議会より協力を得て、地域ふれあいサロンボランティア連絡会、大井川地区ケアマネージャー連絡会で、関係者への周知を依頼
イベントでのPR	4月・7月・11月	大井川マルシェ及び踊夏祭、大井川フェアにPRブースを設け、来場者に運行内容の説明や登録受付を行った。
かわら版の発行	6月、10月	デマンドタクシーの運行内容等を地域の方へお知らせする『かわら版』を作成し、自治会を通して組回覧で周知を図った。
愛称及びキャラクター公募	10月・3月	公募により愛称を「くるりん号」に決定。3月にキャラクターイラストを募集。

報告事項

ウ 第1回焼津市地域公共交通大井川分科会の開催について

大井川分科会での質疑応答、意見

デマンドタクシーの利用状況について

- 大井川地域の高齢者の移動手段の問題解決に向け、利用者のニーズについて情報を共有してほしい。
⇒グランリバーへの買い物や通院、行政手続きのために大井川庁舎へ行きたいといった声が多くありました。今後も、ニーズを調査し情報共有していきます。
- 回覧板で周知しても見ないため高齢者に情報が行き届かない。デイサービスなどで説明してもらい、更にその場で登録までサポートしてもらうのが効果的だと思う。
⇒今後もデイサービス等、地域の集まりへ出向き、説明会を継続していきます。
- 大井川庁舎を経由して焼津市立病院へ行くのは遠回りで、時間がかかる印象だという声をよく聞く。また、デマンドタクシーとバス、2つの料金で費用がかさむことも、利用が伸びない要因となっているのではないか。
- 病院からの帰りの時間が読めないため、帰りの予約もネックになっていると思う。

デマンドタクシーの運行改善策について

- 各病院への通院の要望が多く、今回病院近くの停留所が設置されるので、利用者満足の上につながると思う。
- 利用者便利の向上のため、「ここにバス停がほしい」といった声があったら共有してほしい。

本格運行への判断評価基準について

- 「廃止」とは、デマンドタクシーそのものを廃止するという意味なのか。
 - せっかくできた事業なので継続してほしい。
- ⇒説得力ある根拠をもとに基準を定めて運営する限り、廃止基準を設けざるを得ませんが、ニーズがあることは把握しております。

大井川焼津線の運行改善策について

- 今後大井川焼津線は残るのか、なくなるのか。
- ⇒大井川焼津線は今後の見直しの対象になります。デマンドタクシーで代替りが効く部分が見込まれるため、今後の状況を見ながら検討していきます。
- 大井川寮が移転しバス停もなくなるが、施設の人たちとは話をしているのか。
- ⇒大井川寮とは話をしており、移転先の近くにデマンドタクシーの停留所を新設します。

報告事項

- Ⅰ くるりん号【大井川地区デマンド型乗合タクシー】
のキャラクターデザインについて

くるりん号キャラクターデザインを決定

くるりん号が地域住民に広く親しまれ、長く利用していただけるよう、大井川地区にお住まいの方よりキャラクターデザインを募集しました。大井川分科会委員による選考の結果、上新田の小島 亜早美さんの作品に決定しました。



市の鳥ゆりかもめに、
(くるりん号から)
くるくる回る風車のような羽根
をイメージしました。

(応募者コメントより)

今後、車両へのマグネット設置やチラシへの掲載によりPRを行います。

(2) 協議事項

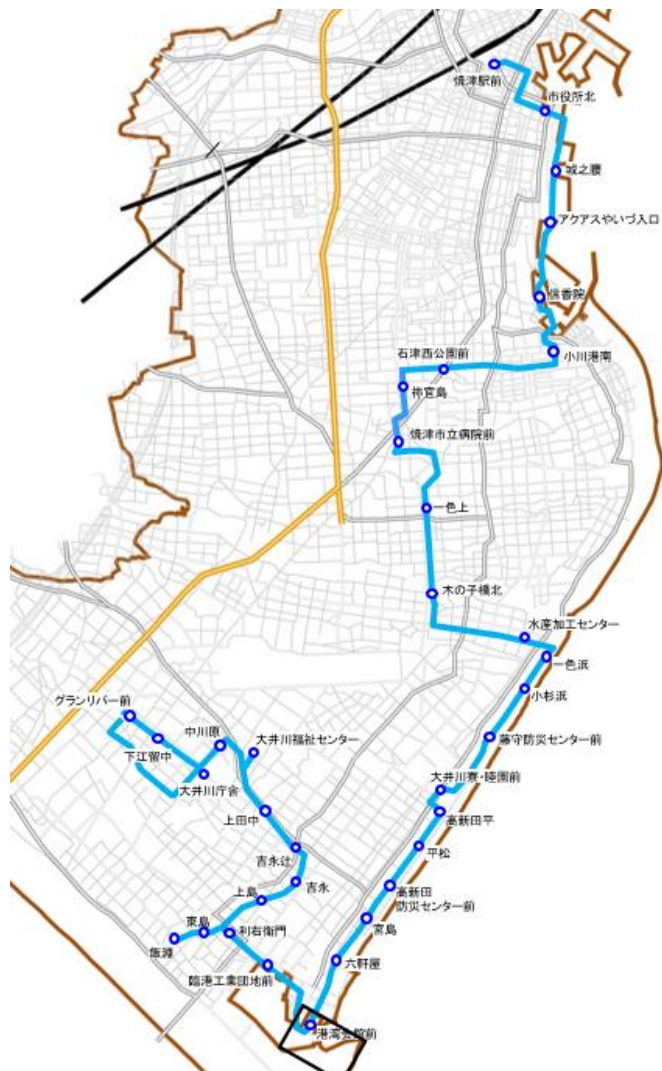
- ア 自主運行バス 大井川焼津線の運行改善策について
- イ くるりん号【大井川地区デマンド型乗合タクシー】の運行改善策について
- ウ デマンド型乗合タクシーの本格運行への判断評価基準について
(大島・三和地区、大井川地区)
- エ 生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統関係）
について

協議事項

ア 自主運行バス 大井川焼津線の運行改善策について

・大井川焼津線

大井川庁舎から南地区・東地区をカバーし、市立総合病院を經由、海岸沿いを運行して焼津駅までを結ぶ路線



課題

大井川庁舎から焼津駅まで移動できることが利点であるものの、片道の走行距離が24kmと長く、1時間以上の乗車時間となっている

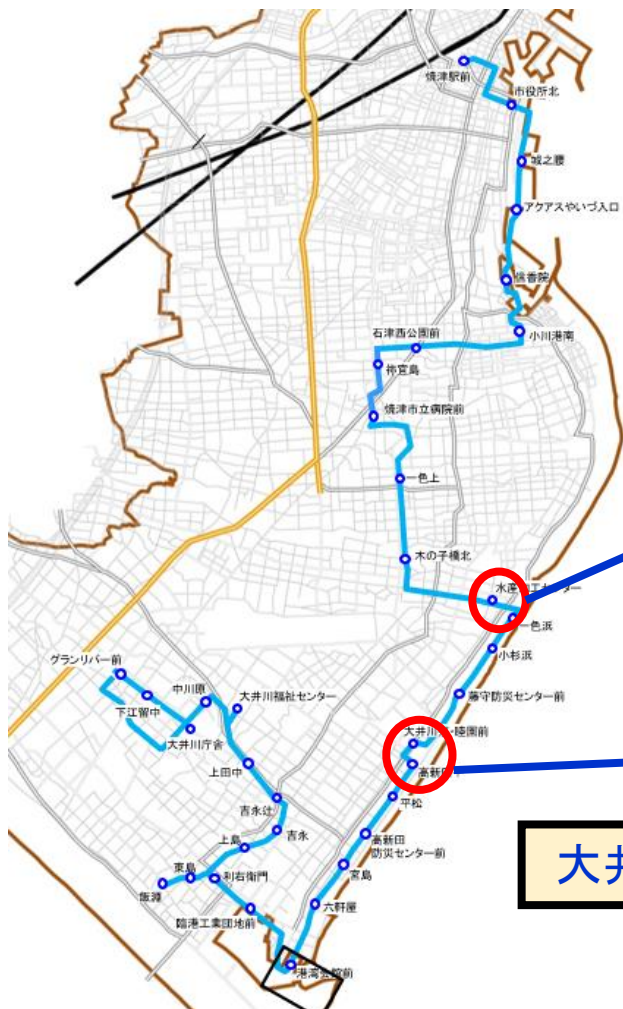
大井川地区内の移動に関して、デマンドタクシーが運行されたことにより、機能が重複する部分がある



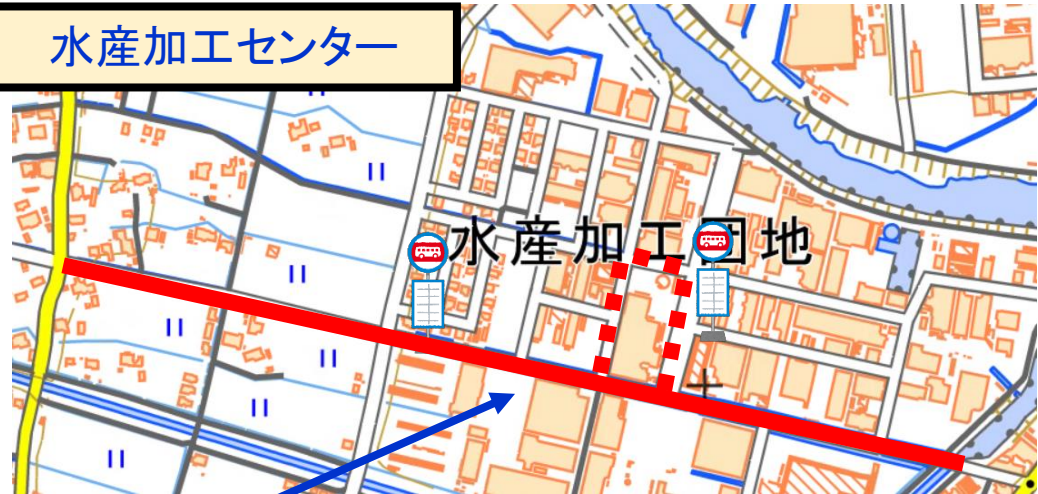
利便性向上のための改善策

時間短縮となるような経路の検討
デマンドタクシーとの役割分担による効率化

ア 自主運行バス 大井川焼津線の運行改善策について



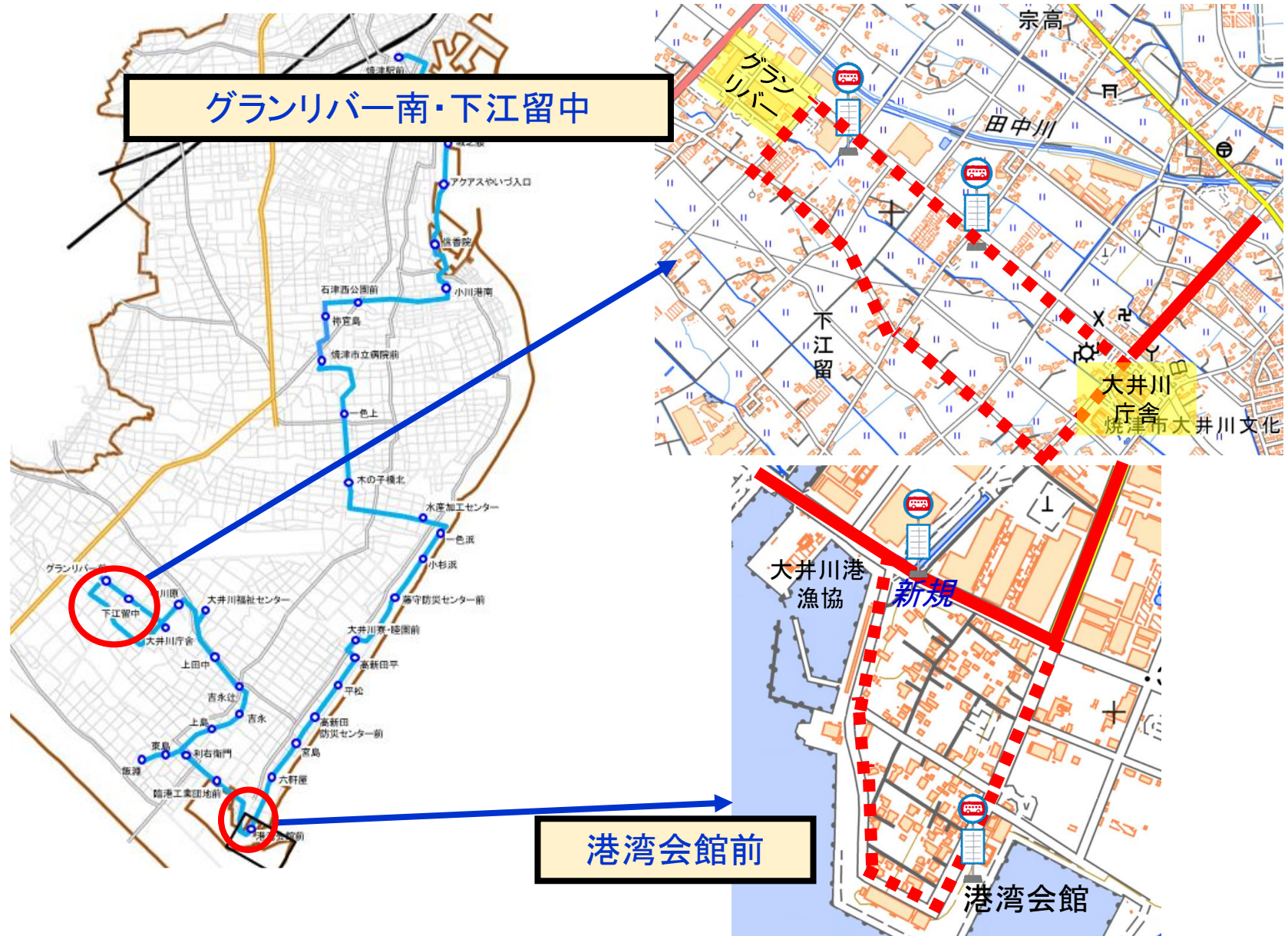
水産加工センター



大井川寮・睦園前



ア 自主運行バス 大井川焼津線の運行改善策について



協議事項

イ **くるりん号**【大井川地区デマンド型乗合タクシー】の運行改善策について

くるりん号停留所

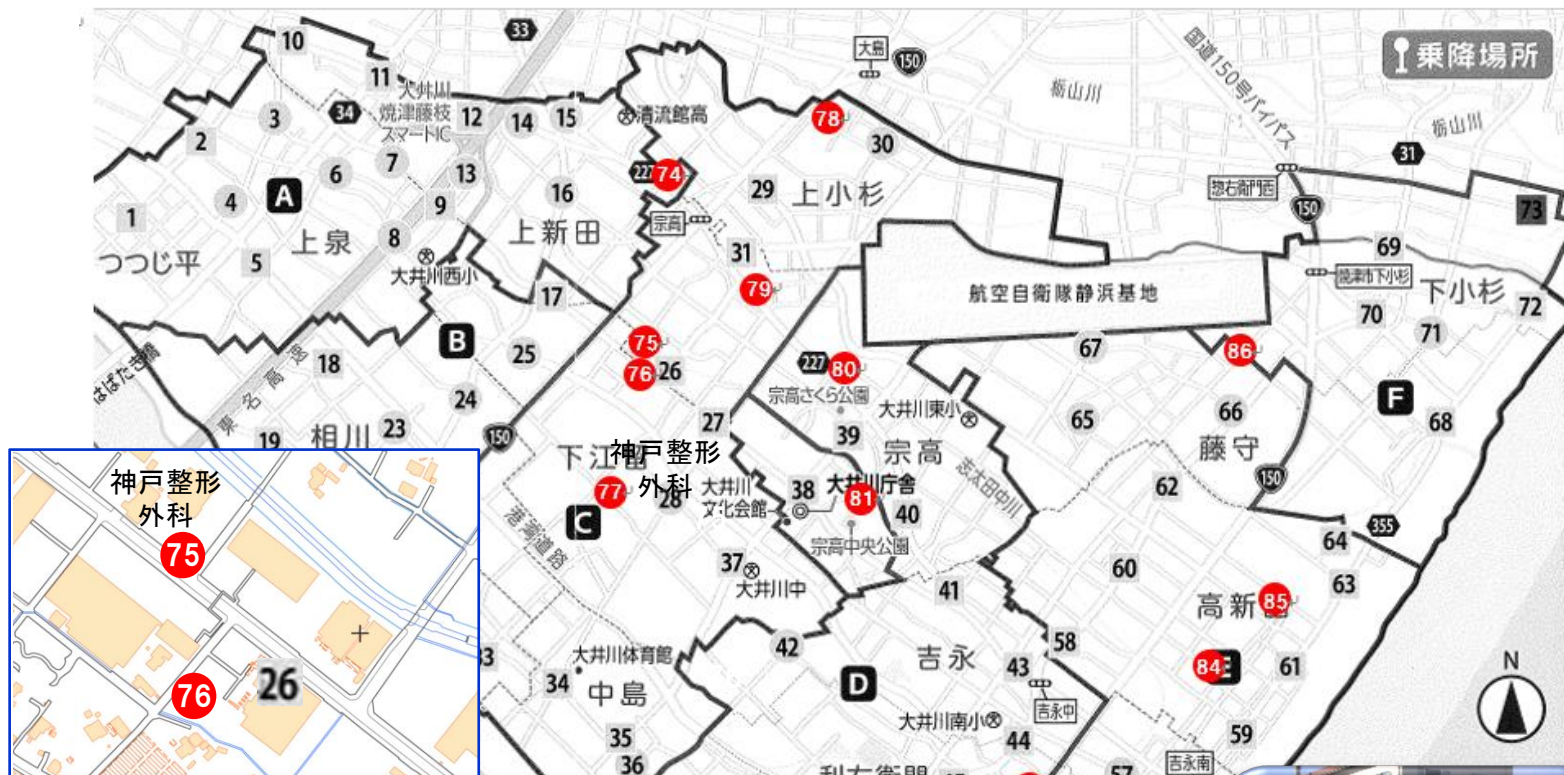


地域によっては
停留所まで遠く
利用しづらい

利便性向上のための改善策
地域や利用者から要望があった
場所をもとに停留所を増設する



新規停留所候補地(13箇所)



● 新規停留所

74	かしはる	81	岩田クリニック
75	おおいがわ薬局	82	吉田医院
76	ケーヨーデイツー横	83	利右衛門防災広場付近
77	下江留ふれあい公園	84	高新田中央防災広場
78	大久保医院	85	高新田東地区コミュニ ティ防災センター
79	大井川ホンダ	86	静浜幼稚園下藤分園
80	大井川郵便局		



協議事項

ウ デマンド型乗合タクシーの本格運行への判断評価基準について

(大島・三和地区、大井川地区)

今後の運行について

- ・本格運行開始への判断を行うための評価基準を定め、令和5年9月末までの利用状況で本格運行とするかどうかの判断を行う。

○実証実験期間 令和4年4月～令和6年3月末

○運行の評価 令和5年9月末までの実績で判断

評価基準の達成状況によって

- ・本格運行への移行
- ・試験運行の継続
- ・廃止の検討

今後のスケジュール (案)

➡は試験運行継続または廃止の検討の場合

	令和5年度												令和6年度			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
評価基準の設定		● 設定					● 評価							● 評価		
評価対象 運行期間	令和4年4月～						公共交通会議						公共交通会議			
試験運行	➡															
改善策の実施								➡								
道路運送法 許可手続									➡							
運行準備 ・周知								➡								
本格運行													➡			
試験運行 継続													➡			
廃止の検討													➡			

参考 焼津 I C (インターチェンジ) 周辺地域における評価基準

評価の視点	評価指標	評価基準
①乗合率	乗合率 $\text{利用人数} \div \text{運行回数}$	1.1人/台以上 (県補助金対象要件)
②収支率	収支率 $\text{運賃収入} \div \text{運行経費}$	20.47%以上
③費用効率	1人1回利用あたりの市負担額	1,400円以内
④地域への必要性	高齢者登録数($\text{高齢者登録数} \div \text{高齢者人口}$)	30%以上
⑤利用者満足度	利用者アンケート	44%以上 (地域公共交通網形計画の目標値)
⑥地域の主体性	地域協議会開催数	4回/年以上 (3か月に1回)

○ **評価方法**—各評価基準の達成状況が100%はA評価、90~100%はB評価、90%未満はC評価

- ・C評価が1つ以下で、他がA評価であれば本格運行とする。
- ・B評価については改善策を講じることでA評価とみなす。
- ・C評価が2つ以上の場合は、試験運行を継続し、以後利用状況で再評価を行う。
- ・C評価が3つ以上の場合は、廃止を検討する。

○ **大島・三和地区の評価基準の考え方**

- ・対象人口や運行エリアが焼津ICと同規模なため、①~⑤の評価基準をそのまま用いる。
- ・大井川西部循環線の廃止に伴い、交通空白地域の解消のために運行を開始したため、地域協議会は設置しておらず、⑥の項目は省くものとする。

※焼津 I C 周辺地域の人口	約1,700人
大島・三和地区の人口	約1,500人

大井川地域における評価基準

○大井川地区の評価基準の考え方

- ・基本的には焼津IC周辺地域における判断基準に準じた評価基準とする。
- ・運行エリアが広域であることから運行契約方法が異なり、車両を借上げる仕様で経費を積算していることから、財政面での評価は困難である。このため、収入の増加を図るための利用者数増加を評価基準とする。
- ・地域への必要性に関しては、実態を考慮し、利用頻度が高い高齢者層に注目した登録者数を基準とする。
- ・地域の主体性は、自主運行バスの代替として運行した経緯を考慮し、大井川分科会の開催回数を評価基準とする。

※焼津IC周辺地域の人口 約1,700人
大井川地区の人口 約21,000人

評価の視点	評価指標	評価基準	R5.3 現在
①乗合率	乗合率 $\text{利用人数} \div \text{運行回数}$	1.1人/台以上 (県補助金対象要件)	A 1.63人/台
②利用者数	年間延べ利用者数	大井川分科会で検討	1,464人
③地域への必要性	高齢者登録数 ($\text{高齢者登録数} \div \text{高齢者人口}$)	大井川分科会で検討	8.27%
④利用者満足度	利用者アンケート	44%以上 (地域公共交通網形計画の目標値)	今後実施
⑤地域の主体性	大井川分科会開催数	3回/年以上 (4か月に1回)	A 3.3回/年

協議事項

工 生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統関係）
について

国の補助事業「地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダーシステム確保維持費補助金）」の交付要綱に規定されている要件を満たす自主運行バス路線について、交付要綱に基づき、補助対象路線（システム）に係る確保維持改善計画を地域公共交通会議において策定する。

●補助対象路線（系統）

路線名	主な系統
大井川焼津線	大井川庁舎～焼津市立病院前～焼津駅前

●主な補助要件

- ・ 国庫補助を受けている地域間幹線バス路線に接続していること
- ・ 新たに運行を開始する系統、または、継続して補助を受ける系統

●補助対象期間

- ・ 補助年度の前年度10月1日から補助年度の9月30日まで

●補助対象経費

- ・ 補助対象系統の経常費用と経常収益の差額（補助率：1/2）

